

第1学年 図画工作科学学習指導案

1 題材名

「かたちから うまれたよ」 (絵に表す)

2 指導観

(1) こんな児童だから

本学級の児童は、一学期に「うんどうかいのえ」で、クレヨン・パスを使って運動会の思い出を絵に表したり、「おってたててゆめのまち」で、あったらいいなと思うものを色画用紙や折り紙を使ってつくったりする学習をしてきている。どちらの学習でも、楽しみながら描いたり、つくったりして、意欲的に取り組むことができている。しかし、活動経験や造形経験が少ないために、自分の表したいことが思うように表現できない児童もいる。

このような児童にとって、身近な画用紙を手でちぎってできた形から自由に想像を膨らませ、絵に表すことは、楽しみながらどんな形に見えるか想像する力や自分なりに表し方を工夫する力を身に付けさせる上で効果的だと考える。

(2) こんな題材で

本題材は、身近な材料である紙を手でちぎったときにできる形からものの形を楽しく想像し、表し方を工夫しながら絵に表す題材である。楽しく想像するとは、紙の置き方や組み合わせ方からさまざまな形に見立てることを楽しみ発想を広げることである。表し方を工夫するとは、自分が想像した形をより豊かに表現するために描画材や色を考えて表すことである。

本題材はA表現(1)アと関連が深く、紙の置き方や組み合わせ方をいろいろ試しながら形の見立て遊びをすることは、自分の表したいものを思うように表現できない児童にとって、形から発想することができるので、楽しみながら想像する力を高めることができると考える。また、自分のイメージに合わせて描画材や色を選んで絵に表すことができるので、自分なりに表し方を工夫する力を高めることができると考える。

(3) このように指導して

- 発想・構想の段階においては、はじめに新聞紙を破ったりちぎったりする体験を十分に味わせた後、白画用紙を使って、自由に形をつくる活動を提案し、安全面に配慮して活動させる。また、紙の切り口や紙と紙を組み合わせたときの形の見え方をいろいろな角度から確かめられるよう、一人一人に黒画用紙を準備する。紙を置いた時点で、3人グループをつくり、どんな形に見えたか意見交流する場を設け、自分の作品づくりの参考にさせるように振り返りの時間を設ける。
- 表現の段階においては、自分が形から想像したものをより豊かに表現するために、背景となる色画用紙を選んだり、線を描く、色を塗る、模様をかく、など表したいものに見えるように描画材や色を考えたり、自分の思いにあった活動ができるようにさせる。
- 鑑賞の段階においては、互いに作品を紹介し合い、自分が話したことや友達の言葉をきっかけにしてもう一度作品を見て、見立ての面白さや表し方のよさを感じさせる。

3 題材目標

- ちぎってできた形をもとに、絵に表す活動を楽しむことができる。(造形への関心・意欲・態度)
- ちぎってできた形から何に見えるか想像することができる。(発想や構想の能力)
- ちぎってできた形が表したいものに見えるように、付け加える形や色を工夫することができる。(創造的な技能)
- 自分や友達の表現の面白さやよさを見付け合い、その感じについて話したり聞いたり、自分の表現に生かしたりすることができる。(鑑賞の能力)

4 学習計画（全6時間）

過程 配時	学習活動	手だて（※） ふりかえり活動に関する手だて（◆）	児童の姿
発想 構想 ②	<p>1 白画用紙を手でちぎっていろいろな形をつくる。</p> <div data-bbox="240 353 536 443" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">かみをやぶったり、ちぎったりしよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞紙を手で破ったり、ちぎったりする。 ○ ちぎった白画用紙の切り口の感じや切り取られた形からものの形を想像する。 <p>2 いろいろな形の紙を並べたり、組み合わせたりしながら、表したいものを思いつく。</p> <div data-bbox="240 831 536 913" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">かみをくみあわせてかたちをつくらう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 並べたり組み合わせたりした紙の形をいろいろな角度から見る。 ○ 表したい形になるように、紙と紙をのりで貼る。 ○ 表したい形に合わせて背景となる色画用紙を選び、のりで貼る。 	<p>※ 新聞紙を使って手で破る、手でちぎる活動を十分に体験させ、白画用紙を用意し、面白い形にちぎる活動をさせる。</p> <p>※ 少しずつ向きを変えながら、大きな形をつくってみるように声をかける。</p> <p>※ 紙を並べたり組み合わせたりするともっと形が面白くなることを例に出して提案する。</p> <p>※ 黒画用紙の上に紙を並べて、いろいろな角度から紙の形が何に見えるか考えさせる。</p> <p>◆ 3人グループで、切り口に着目しながら何の形に見えるか意見交流させる。</p> <p>※ 発想を広げさせるために、並べたり組み合わせたりする紙は3枚以内にさせる。</p>	<p>◎ 自分が破ったり、ちぎったりした紙の形から、意欲的にものの形を想像している。</p> <div data-bbox="1050 383 1489 499" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">魚の形に見えるな。</div> <div data-bbox="1034 517 1465 656" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">わにが、口を開けているように見えるよ。</div> <p>◎ いろいろな形の紙を並べたり組み合わせたりしたものを鑑賞し合い、それが何の形に見えるか話し合っている。</p> <div data-bbox="1034 846 1465 981" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">2枚の紙を重ねると、鳥の頭と体ができるな。</div>
表現 ③ 本時 3/6	<p>3 表したい形に合わせて、クレヨン・パスや色ペンを選び、絵に表す。（色・線）</p> <div data-bbox="240 1384 536 1467" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">〇〇にみえるようにせんでえにあらわそう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 想像したものの形をより豊かに表現するために、絵に表す。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>4 意見交流したことをもとに、材料を選んだり描画材や色を付け加えたりして工夫する。（鑑賞も含む）</p> <div data-bbox="240 1776 536 1859" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">もっと〇〇にみえるようにくふうしよう。</div>	<p>◆ 表現についての発想が多様に出るように3人グループの形をつくり、活発な意見が出るように交流する場を設ける。</p> <p>※ 絵に表すためのポイントを提示する。（色・線の太さ）</p> <p>◆ 絵の表現がさらに楽しくなるように、材料や描き方について、全体で話し合わせる。</p> <p>※ 自分のがんばったところを伝える時間を設ける。</p>	<p>◎ 表したい形をより豊かに表現するために、形に合った描画材や色について話し合い、絵に表すイメージをもつことができる。</p> <div data-bbox="1034 1413 1465 1529" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">色ペンを使って鳥の羽をかこう。</div> <div data-bbox="1034 1619 1369 1753" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">折り紙を小さく切って貼ると、鳥の体がもっときれいに見えるな。</div>
鑑賞 ①	<p>5 出来上がった作品を鑑賞する。</p> <div data-bbox="240 1955 536 2067" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">じぶんやともだちのさくひんのよさをみつけよう。</div>	<p>◆ 互いに作品を紹介し合わせ、形の見立ての面白さや表現方法のよさを見付けさせる。</p>	<p>◎ 自分や友達の作品の面白さやよさを伝えている。</p> <div data-bbox="1018 1955 1481 2089" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ぎざぎざの線でかいたり、色をたくさん使ったりすると形がはっきりわかるね。</div>

5 本時の指導について

(1) 本時の目標

- 表したい形に合わせて、描画材や色を考慮することができる。(発想や構想の能力)
- 表したい形をより豊かに表現することができるように、クレヨン・パスや色ペンを使い、絵に表すことができる。(創造的な技能)

(2) 本時指導の重点

本時は、想像した形をより豊かに表現しながら絵に表すことができるよう、以下のことを行う。

- 表したい形に合わせて描画材を準備する。
- 多様な話し合いができるように、小グループによる意見交流を行う。

(3) 本時の展開

学習活動	手だて(※) ふりかえり活動に関する手だて(◆)	児童の姿
<p>1 自分が表したい形をより豊かに表現するための描画材や色について話し合う。</p> <p>○ 全体で話し合う。</p>	<p>◆ 前時までの活動を振り返り、「色」「もよう」に焦点を絞り、表したいものに見えるように、どんな工夫をしたらいいか発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目をかく。 ・ もようをかく。 ・ 線をつける。 <p>※ 考えた工夫を板書し、次の活動に生かせるようにする。</p> <p>※ 描画材の種類を提示し、選んだ描画材によって線の太さが変わることを提案する。</p>	<p>◎ 自分が表したい形をもっと楽しく表現できる方法を考えながら、話し合っている。</p> <div data-bbox="1007 763 1437 869" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>クレヨンを使って、鳥のはねに色をつけてみよう。</p> </div> 
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて</div> ○○にみえるように、せんで えにあらわそう。		
<p>2 表したいものに見えるように、より豊かに絵に表す。</p> <p>○ 表したいものに見えるように、描画材で線进行かく。</p> <p>3 活動を振り返り、自分が工夫した表し方について発表する。</p> <p>○ 表したいものに見えるように自分が工夫したところを話したり、友達の表現のよさを見付けたりする。</p>	<p>※ 必要に応じて描画材や色の生かし方の助言を行うとともに、技術的な支援を中心に行う。</p> <p>◆ 3人グループで順番に話し手と聞き手に分かれて発表する。</p> <p>◆ 話し手は、表したいものに見えるように自分が工夫した描画材のかき方や色の選択について発表し、聞き手は、友達が表したいものに見えたところを探しながら聞く。</p> <p>※ 次時は彩色だけでなく、色画用紙や折り紙などを使ってさらに工夫することができることを伝え、意欲と見通しをもって取り組むように提案する。</p>	<div data-bbox="1086 1238 1246 1361" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1027 1375 1437 1509" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>色をかえながら、なみなみの線をかくときれいな鳥のはねになったよ。</p> </div> <p>◎ 表したいものに見えるように自分が工夫した描画材のかき方や色の選択について、友達に話したり、友達の工夫のよさについて考えたりしている。</p> <div data-bbox="1007 1787 1437 1921" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>まわりに木や雲をかくと、もっと鳥がとんでいるように見えるな。</p> </div> 